

## 路線バス（乗合バス）の上限運賃変更の認可申請について

本日、国土交通省東北運輸局に対しまして、乗合バス運賃の上限運賃変更認可申請を行いましたのでお知らせいたします。申請理由および申請概要は次のとおりです。

### 1. 申請理由

当社は、1995年3月21日実施の前回改定（消費税率引上げによるものを除く）から、約28年間にわたり現行の運賃水準による輸送サービスを提供してまいりました。

しかしながら、2020年以降、コロナ禍により運送収入が大きく落ち込み、現在においてもコロナ禍前の水準には戻っておりません。その一方で、燃料費を中心に事業運営の費用上昇と高止まりが続き、厳しい経営状況が続いております。

これに加えて、日本全国でバス乗務員や事務員の人手不足が深刻化してきており、当社においても路線廃止や減便を行なうと共に、業績の回復に先駆けて社員の待遇改善に努めております。具体的には、昨年12月と本年3月の2回にわたりベースアップを行ない、本年の夏期賞与についてもコロナ禍前の支給月数に戻しております。

さらに、設備投資においても、既存の磁気カードシステムの老朽化対応と利用者の利便性向上に向け、従来のバスカードシステムを順次、交通系ICカードシステムへ移行しており、財務的な負担が重くなってきております。

以上のような経営環境にあつて、これまで収入の減少と費用や設備投資の増加を経営努力で補ってまいりましたが、それも限界となり、今般、利用者の皆様方に追加的なご負担をお願いすることに至ったものです。

### 2. 申請概要

- 申請日 2023年7月24日（月）
- 運賃改定実施予定日 2023年10月1日（日）
- 上限運賃の平均改定率 15.35%（実施運賃の平均改定率7.7%程度を予定）
- 現行・申請運賃比較表

運賃制度	上限運賃※1		実施運賃※2	
	現行	申請	現行	申請
基準賃率	47円50銭	54円90銭	—	—
初乗運賃	150円	170円	150円	170円

※1 上限運賃とは、一般乗合バス事業の経営に必要な原価に応じて算出される、バス事業者が収受してもよいとされる運賃の上限額です。

※2 実施運賃とは、認可が得られた上限運賃の範囲内で実施する、お客様から収受する運賃額です。実施運賃については現時点での予定であり、変更となる場合があります。

(5) 主要区間の運賃比較表

主要区間	片道運賃		通勤定期券（1か月）	
	現行	申請	現行	申請
盛岡駅前～盛岡バスセンター	150円	170円	5,850円	6,630円
松園ニュータウン～県庁・市役所前	400円	420円	15,600円	16,380円
松園バスターミナル～東松園二丁目	100円	120円	3,900円	4,680円
県営体育館前～中央通一丁目	320円	340円	12,480円	13,260円
白百合学園入口～大手先口	230円	250円	8,970円	9,750円
向中野～県庁・市役所前	280円	300円	10,920円	11,700円
イオンモール盛岡～盛岡駅前	260円	280円	10,140円	10,920円
イオンモール盛岡南～盛岡駅前	200円	220円	7,800円	8,580円
つつじが丘団地～盛岡駅前	340円	360円	13,260円	14,040円
盛岡駅前～中野一丁目	210円	230円	8,190円	8,970円
北高田～県庁・市役所前	500円	520円	19,500円	20,280円
花巻駅前～総合花巻病院	190円	210円	7,410円	8,190円
北上駅前～県立中部病院	390円	410円	15,210円	15,990円
水沢駅前～江刺バスセンター	470円	490円	18,330円	19,100円
一関駅前～岩手病院前	270円	290円	10,530円	11,310円
サンリアSC前～県立大船渡病院	200円	220円	7,800円	8,580円
釜石中央～野田	330円	350円	12,870円	13,650円
盛岡駅前～いわて花巻空港	1,430円	1,500円	—	—
盛岡バスセンター～大槌町役場	2,400円	2,400円	—	—
盛岡バスセンター～遠野駅前	1,940円	1,940円	—	—
盛岡バスセンター～ <sup>遠野</sup> サンリアSC	2,750円	2,750円	—	—
盛岡バスセンター～ <sup>荷沢</sup> サンリアSC	2,900円	2,900円	—	—
盛南ループ（上限運賃）	200円	250円	—	—
盛岡中心市街地循環バス『でんでんむし』	120円	130円	—	—
平泉町巡回バス『るんるん』	200円	200円	—	—

※ 大迫花巻線は、花巻市から運行委託を受けている路線になりますので、運賃の変更はございません。

### 3. 収支状況及び輸送人員

		輸送人員	収支状況
2019 年度（実績年度）		17.5 百万人	△505 百万円
2023 年度（平年度推計）	改定前	16.7 百万人	△687 百万円
	改定後	16.3 百万人	△301 百万円

※ 申請数値は貸切バス・高速バス等は含まれないため、決算等の公表数値とは異なります。

※ 実績年度は新型コロナウイルス感染拡大前の 2019 年度とし、平年度は 2019 年度実績に基づき、感染症の影響等を除いた 2023 年度の推計値としています。

### 4. これまでの経営合理化状況及び今後の取り組み

これまで、非効率路線の休廃止、利用状況に応じた運行ダイヤの見直し、営業拠点の統廃合による固定費の削減など、事業運営面の効率化を図ってまいりました。

また、本社の事務部門においても、退職者の不補充や既存人員の複数部門兼務などにより、費用の削減を進めておりますが、安定的な事業運営に向けてはこれ以上の人員削減は難しい状況となっております。

今後も、引き続き利用人員に対応した輸送効率向上に向け、運行ダイヤの見直しに取り組み、輸送コスト削減を図る一方で、一定の利用実績のある基幹路線については可能な限り維持すべく最大限の努力を行ってまいります。

また、要員の確保が最大の課題となっているバス業界の状況に鑑み、待遇面をはじめとして魅力と活力のある職場環境の実現にも努めてまいります。

### 5. サービス向上に向けた取り組み

2021 年 3 月に、Suica 機能を持つ地域連携 IC カード「Iwate Green Pass」を導入しております。順次、営業所毎に IC カード対応を拡大し、まずは盛岡地区（滝沢、松園、都南、矢巾、紫波の各営業所）において交通系 IC カードのサービスを実現しております。IC カード対応には多額の設備投資負担が発生しますが、今後も財務状況を勘案しながら盛岡地区以外へのサービス拡大にも積極的に取り組んでまいります。

また、新型バスロケーションシステムの導入により、実際のバスの運行、遅延状況を手元のスマートフォンで確認でき、「バスがいつ来るかわからない」、「もう通過したのではないか」という不安やイライラを解消しております。

バス車両においては、コロナ禍の間、都市部の大手バス事業者が車両購入を控えた影響で中古バス市場の品薄状態が続いていますが、そうした中であっても、可能な範囲で継続的にノンステップバスを中心とした車両の代替を行っております。さらに、環境負荷の少ない EV バスについても、国や県からの財務的な支援に応じて再開して行くことを計画しております。